



県は、公共事業の効率化及びその実施過程の透明性の向上を図るべく、再評価システムを導入。事業採択後、一定期間を経過した後も未着工である事業、採択後すでに長期間が経過している事業などを再評価の対象としている。

見直し対象とされたのは、県が事業主体となる「加津佐地区地域水産物供給基盤整備事業（加津佐町）」、「樺島

野地区地すべり対策事業（佐世保市）」、「森林管理道上五島縦貫線」（新上五島町）」、「市町主体である」堤地区地域水産物供給基盤整備事業（平戸市）」、「南有馬地区地域水産物供給基盤整備事業（南有馬町）」、「長崎三重地区地域水産物供給基盤整備事業（長崎市）」、「美津島東地区地域水産物供給基盤整備事業（対馬市）」、「厳原東地区地域水産物供給基盤整備事業（対馬市）」、「諸津

対馬市は、6月定例会市議会（24日開会）に提案する補正予算案を公表した。一般会計追加額は7億9600万円。今年度の予算総額は37億4200万円となる。

主な工事請負費は、峰港湾開通施設整備費4500万円ほか、道路新設改良費に2億3993万円を計上。内訳（増額路線分のみ）は、乗越2号線（6925万円）、浅浦線（7000万円）、市道古里本線（1963万円）、西津屋線（7348万円）、中山線（3847万円）となっている。

主な事業とその補正額は次の通り。

一般会計

- △財産管理費＝需用費63万（修繕料） 工事請負費100万（旧厳原町第2分団消防格納庫解体）
- △電算管理費＝委託料5070万（介護保険広域化システム構築）
- △企画費＝委託料△28887万（測量調査、設計監理△2039万/情報基盤整備基本計画調査△798万）
- △工事請負費3413万（地域イントラネット基盤整備575万/CATV施設整備2837万）
- △諸費＝需用費126万（修繕料）
- △漁港建設費＝委託料△551万（測量調査、設計監理等） 工事請負費△1707万（漁港整備（塩浜4129万、内院2100万、唐崎△6803万、千導△514万、小綱△822万、久和△1449万、赤島△48万）/漁港海岸保全整備（千導2885万、唐崎△1185万））
- △観光費＝需用費380万（修繕料） 委託料3252万（浄化槽維持管理258万/測量調査、設計監理等308万/電気工作物保安点検61万他） 工事請負費△478万（茂木浜整備）
- △道路新設改良費＝委託料2397万（測量調査、設計監理2407万/積算システム保守△10万）
- △工事請負費2億3993万（道路改良（乗越2号線6925万、浅浦線7000万、

西津屋線改良費に73千万

峰港湾開通施設整備には45千万計上

対馬市の6月補正予算案

7部会で研究開発へ 真人建設のテーマ採用

県リサイクル資材研究開発事業

県は、企業から提案を募集していた「建設発生木材リサイクル資材研究開発事業」の研究テーマを、先月行われた選考の結果、(有)真人建設（諫早市、山本芳弘社長）に決定した。テーマは、木チップと再生石膏等を原料とした建設資材等の研究。当初三つを採用予定であったが、新規採用は一つだった。同社では本年1月、県内初導入となる再生石膏リサイクルセンターを立ち上げ、厳しい自社環境基準システムのもと、廃棄物の再生にも取り組んでいる。

17・18年度で実施する同事業ではこのあと、研究開発委員会が初会合を7月5日に開催予定。今年度中に研究開発や試験施工、18年度に認定基準案の作成や試験施工の結果検証などを行い、19年度の「リサイクル資材認定制度」の実現を目指す。

研究開発委員会には、長崎大学や行政担当者のほか、関係団体として(社)県建設業協会、(社)県建築物解体工業会、(社)県造園建設業協会、(社)県産業廃棄物協会、(株)植物誘導研究会、(株)環境資源リサイクル事業協同組合の6

17・18年度で実施する同事業ではこのあと、研究開発委員会が初会合を7月5日に開催予定。今年度中に研究開発や試験施工、18年度に認定基準案の作成や試験施工の結果検証などを行い、19年度の「リサイクル資材認定制度」の実現を目指す。

研究開発委員会には、長崎大学や行政担当者のほか、関係団体として(社)県建設業協会、(社)県建築物解体工業会、(社)県造園建設業協会、(社)県産業廃棄物協会、(株)植物誘導研究会、(株)環境資源リサイクル事業協同組合の6

△木材チップと再生石膏等を原料とした建設資材等の研究(有)真人建設、(有)ブルスカイ、(株)ジュリアン(企画)

《木炭研究部会》

- △廃木材を利用した灰の特性、効果及び利用用途に関する研究(島原産業(株)、(有)大裕工業、(株)マツヤ産業)
- 《緑化基盤材研究部会》
- △多様な土質条件下に適用可能な緑化基盤材の研究(島原産業(株)、(株)飯盛グリーン開発、土橋緑化建設(株))
- 《チップ舗装材研究部会》
- △木チップ舗装材の基本性能、デザイン性等に関する研究(有)真人建設、(株)マツヤ産業、佐藤建設(株)、(株)松栄技建(株)岩松)
- 《マルチング材研究部会》
- △飛散しにくい又持続的効果を得られるマルチング材の研究(株)法面、(株)島原緑地建設)
- 《粗粒研究部会》
- △粗粒の利用用途及び施工技術に関する研究(株)ホクシヨウ、(株)有馬、(株)梅村組)
- 《安全性研究部会》
- △建設発生木材の安全性確保に関する研究(県植物誘導研究会、(株)中央環境、(株)アイ興産)

地方五(制)の通